

様式3 【物・文化財・風景など実体のあるもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (  可  否 )

区 分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 絶滅危惧種	(ふりがな) ぜつめつきぐしゅ	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	ユビソヤナギ		
伝承地域	只見町伊南川流域		
由来 (年代)	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 平成 15 年伊南川流域において発見された		
内 容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども)  ユビソヤナギは、1972 年、群馬県湯檜曾川の岸边において発見されたヤナギ科の日本固有の植物で、落葉高木。国内では、北関東・東北地方の日本海側から背梁山脈直下の太平洋側の多雪地域にかけて点々と植生。河川上流部の山間地や少し広い盆地に流れ出た礫質の河原に生育している。河川の自然攪乱によって維持される、原生的な河川環境を代表する貴重なヤナギ。絶滅危惧種Ⅱ類に指定されている希少種で、雌雄異株。樹皮の内側が黄色く、葉に鋸歯があるなどの特徴がある。4月中旬から下旬にかけて開花する。 只見町においては、2003年8月、只見の自然に学ぶ会(代表 新国勇氏)の依頼で水辺林調査を行っていた森林総合研究所(つくば市)の研究員が、伊南川流域で発見した。自生地は伊南川流域 70 kmと広範囲に及び、国内最大級。		
大きさ・材質	(大きさ: 緑の文化財、巨木、建造物などスケールが情報として有用なもの。)	(材質)	
見 頃	(緑の文化財、巨木など特定の時期に見頃が訪れるもの。)		
交通アクセス	只見町榎戸から南会津町恥風までの伊南川(沿線の)バス		
文化財等の指定状況	なし		
問い合わせ先	只見町教育委員会	電話 0 2 4 1 - 8 2 - 5 3 2 0	

【フリーフォーマット】

キーワード

<ユビソヤナギ>



<ユビソヤナギの雄花>



(只見町 新国 勇氏提供)